



"To acknowledge the duty that accompanies every right"  
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

# THE OSAKA CENTENNIAL

C/O KITAMURA BUSINESS CONSULTANTS OFFICE  
 503 Shinsoibashi Urbanite  
 1-5-12 Nishi-Shinsoibashi Chuou-ku  
 OSAKA 542 JAPAN

M A Y 1997. No. 11  
 The Service Club to the YMCA  
 Chartered September 25, 1982

## MOTTO (1996~1997)

- I P "Learn Implement Impart" 「学びと奉仕と分かち合い」
- A P "Restoring the Creation Order of God" 「天地の調和を取り戻そう」
- R D "New Regions and Forward" 「新リジョン! さあ前進!」
- D G "Y's First"
- C P 「進んで参画しよう。」



= 月間強調テーマ: 『E M C - M』

## = 5月の聖句 =

「狭い門から入りなさい。滅びに通じる門は広く、その道も広々として、そこから入る者が多い。しかし、命に通じる門はなんと狭く、その道も細いことか。それを見いだす者は少ない。」

(マタイによる福音書 7章 13~14節)

《E M C - M》 会員増強はクラブ活性化への第一歩であり、ワイズダム発展の基礎です。日本区6000プロジェクトの仕上げの年に当り、多くの仲間が入会したのと同時に退会していった仲間も少なくないことを痛感します。また組織にとって世代交替は必須条件ともいえます。もう一度自分自身のクラブ増強について考えましょう。(野藤 啓)

## = 5月お誕生の方 =

Happy Birthday to following people ...  
 隅田君 3日, 秋月君 8日, 川越 様 16日

## — 5月第1例会 —

日時: 1997年 5月 21日 (水) 6:30 ~ 8:30 p.m.  
 場所: 大阪グランドホテル

- 司会: 山田 孝彦 君  
 栗山 佳三 会長
1. 開 会 点 鐘 栗山 佳三 会長
  2. ワイズソング 同
  3. 聖 句 朗 読 角 正信 君
  4. ゲ ス ト 紹 介 栗山 佳三 会長
  5. 日々のご褒め及び黙 禱 同
  6. 晩 餐 同
  7. フリー トークング  
 「クラブの活性化」  
 (若返り・増員・出席率向上等)
- 司会: 黒田 蔵之 君
8. お 誕 生 日 祝 い 同
  9. ニコニコ 献金 ドライバー
  10. 役員会・委員会報告・YMCA ニュース
  11. 閉 会 点 鐘 栗山 佳三 会長

4月在籍者	4月出席者		4月出席率	B F ポイント
25名 広義会員	第1階 16名	第2階 7名	64.0% (メンバー誌)	4月分切手 497 gr. 現金 2,500 円
0名 合計	メネット 6名	0名	前月出席率 修正 - %	本年累計 切手 6,764 gr. 現金 40,700 円
25名	コメット 0名	0名		
	ビジター 1名	0名		
	ゲスト 0名	0名		
	合 計 23名	7名		(冊 "4月BF誌" をご覧)

役員  
 会 長: 栗山 佳三  
 副会長: 秋月 利英  
 " : 山田 孝彦  
 書 記: 三浦 直之  
 " : 藤原 正巳  
 会 計: 津田 葉清政

◎ 4月ニコニコ献金  
 28,392円

◎ 5月第1例会当番: (第1班) 中村君, 福永君, 角 君, 池永(栖)君, 神田君

◆ 5月第2例会: 1997年 5月 28日 (水) 6:30-8:30p.m. 於大阪グランドホテル

《今日の聖句によせて》

今月の聖句の意味は、文字通り明快で解説の必要はありません。ただ、私の言いたいことは次の事です。

聖書に用いられている言葉の中には、既に日本語の通用語になっているものが多く、「狭き門」も受験シーズンによく使われております。その他に代表的な言葉の一つに「目からうろこが落ちる」があります。これは使徒パウロがまだサウロとよばれていて、熱狂的なキリスト教徒に対する迫害者であった時、ある日突然にキリストの「まぼろしの声」を聞き、それ迄の生き方が180度変えられた時に用いられた言葉です。これはNHKの「日本人の質問」の中で司会の古館伊知郎がよく使っています。

このように日本人の生活の中に解け込み、親しまれている聖書の言葉が実に多いことに驚きさえ感じます。聖書の言葉の日常化という事実は、そのままこの歴史の中に人間の姿をとって過した神の子イエス・キリストの存在そのものと言えましょう。(聖句撰・解説：黒田 巖之)



(典型的L.Tそのものを演説される角正信君)

新しく役割につく前にその研修が必要である。子鷲がどのようにして一人前に啼くようになるかを見ても分かるように、人間も教育問題が難しくなっているが、訓練して個性を育てることが必要である。これは生涯教育であり、生きるための死の教育でもあるのです。

YMCAの標語に“Tomorrow's leader will be made today”(あすのリーダーは今日創られる)といわれる。今はそれが風化しているが、YMCAへ来ることによってYMCAの日常生活を通じてL.Tになる。ホテルの社員研修は、キリスト教理解によって、ボーダーラインにあるホスピタリティ(旅人を暖かくもてなす)を工夫して訓練して、新しいリニューアルを進めることができる。

21世紀はどちらかという個性集団に対する指導体制が重要で、これに対応するリーダーが求められるということです。そこで、今回は出席者を4人づつ一つのグループに分け、それぞれ渡された用紙に、21世紀はどんなリーダーが求められるか、どのようなタイプの人か求められるか、についてそれぞれ意見を書くことになりました。書かれた主なものは：

- ①21世紀になってもL.Tの本質には変わりなし。
- ②グローバル・スタンダードに基づく世界に通ずるリーダーが求められる。人々の意欲を強力に引き出すことのできる能力をもった人。
- ③共観・共感・共生社会にどういふ資質が必要か、強力なリーダーシップがあっても、その資質がなければついてこないのではないか。
- ④世界の現状を意識して国境を越えた感覚を持つ人、平和を願い実現する人。あらゆる個性を受入れて女性の細やかさ、やさしさも必要。
- ⑤個性を生かし、個人を尊重し、人間的魅力をもつリーダーとして能力を引出せる人。
- ⑥世界に目を向けて千変万化も必要。情報過多に惑わされない豊かな人が必要。

などなど、沢山の意見が出されました。

次いで、YMCAの歴史の中に培われたリーダーシップが現在の社会に対応できているか反省もあることが述べられ、新しい21世紀に向けて人材・スタッフの養成

(次頁に続く)

＝ 4 月 第 1 例 会 報 告 ＝

(4月16日(水) 6:30p.m.)

福永嘉彦

暖い春の夕刻、何気無く例会の部屋に入ると、机がコの字型に並べられ、向い合って座るようになっていたことに、いつもと違った感じを受けました。

今月の聖句を池永(洋)君に代って谷川君が朗読された後、栗山会長より北村京子中西部メネット主査の紹介に続き、今月より新しく連絡職員(従来の連絡主事を改称)として就任された神田尚人氏が紹介されました。早速、同氏は4月のニコニコ・メッセージで披露されたお子たちの誕生日が違っていたことを訂正され、4月に御家族3人も誕生日が凝縮するのも大変なことだと御同情(?) 申し上げた次第です。

卓話は予定を変更して角正信君がリーダーシップ・トレーニングについて話されました。如何にも世話好きらしいデッカイ靴とヴィジュアル・プレゼンター(TV演説の機軸)を駆使して、正にL.Tそのものの出立ちで進められ、説得力をもった持ち前の美声で高齢者にも明快に響く協調性のある口調に圧倒されました。

「21世紀に対応するリーダーシップ・トレーニング」と題して「創造的個性を活かす人材研修」について用意されたレジュメにより進められました。人はどのように生きるか、その生き方にはいろいろあるが、一緒に交わり共に生きるそのものが、L.Tであり、訓練・学習であるということです。特に21世紀は、どのような世界になるか分からないが、我々は受継いだものを次の世代へ継承していくことに意義があると思われるので、

と人との繋がりが非常に大切であることが指摘されました。リーダーを生かすと共に私達も生かされるために具体的にどうしていくか、皆さんの助言を頂きながらYMCAもやっていきたい、と述べられました。

最後に、司馬遼太郎氏が亡くなられる前に教科書になった同氏の「21世紀に生きる君たちへ」と題する文章が配布され、その朗読のテープを聞きました。人を生かす、共に生きることの重要性を強調されています。

卓話の後、北村京子中西部メネット主査より日本区大会のメネットの集いを盛大に行いたいので、多数参加されたい旨要請がありました。

続いて、栗山会長より当クラブ事業委員(案)を報告、諒解をとり、各事業委員の年度計画作成の依頼がありました。行事報告として、水と緑を守る市民の集い(4/19)、東海Y's30周年記念(6/6)、大阪ヴェクセルY's設立総会(4/22)、西日本区事務所開設披露(5/11)、日本YMCA大会(6/20-22)の案内。“日本区Y'sdom70年の歩み”に掲載の写真に応募の件などにつき報告があった。三浦君より一泊研修会(4/26-27)出席者は現在11名(内メネット1名)であるが、希望者は連絡されたいと要望された。秋月君よりチャリティラン(6/1)準備会の報告があり、場所は淀川左岸城北公園の河川敷、いろいろ規制があるので、昨年様には出来ないかもしれないが、YMCAの事情もあるので、労力奉仕が必要であることのアピールがありました。その他報告があり、活気の溢れた例会は定刻を少しオーバーして終わりました。

## = 4 月 第 2 例 会 報 告 =

(4月23日(水) 6:30p.m.)

三 浦 直 之

### 1. 事業委員長就任の件:

新年度行事計画と予算案作成を5月第1例会までに提出して頂く。

### 2. 5月度第1例会プログラム: 別掲の通り。

### 3. 6月度第1例会プログラム(EMC/C):

栗山佳三会長に卓話“年度を終えるに当って”をお願いする。同時に日本区大会報告と恒例のセンチナル遊(?)秀Y's表彰をする。

### 4. 大阪YMCA第3回チャリティラン:

4/24(木)第2回実行委員会に栗山会長出席予定。当クラブは受付・会計を担当。お仕事会的に集まって準備をするので、会長より協力依頼あり。(別掲参照)

### 5. EF(エンダウメント・ファンド):

なかのしまチャーターを記念して100ドルを拠出する。

### 6. 長瀬由香子君なかのしまクラブへ转会(7月より):

本人の申出は事情やむを得ないとし、承認。

### 7. その他:

①一泊研修会(4/26-27)の集合時間を1時間早め6:00 p.m.とする。同研修会には9名出席予定。ゲーム賞品代として¥1,000/人をMET予算より支出する。/



## B F · E F 表 彰 さ れ る

我々センチナルクラブは1995/96年度のBF・EFに優秀な成績を収めたので、先般国際より表彰され、上のワッペンが送られて来ました。

成績はドル換算一人当たり50弗であり、25弗ランクより62.5弗ランクに近いので、そのランクで表彰されました。御同慶の至りです。今後もお互い大いに頑張りましょう。

◇Contributions: Cash in U.S. Dollars 1,438  
BF Population: 29, Per Member: \$50

### ②西日本区事務所開設披露会:

5/11(日)3:00-5:00p.m. 於大阪YMCA会館  
福永君出席予定(会費:¥3,000)

### ③熊本ジェーンズクラブ創立10周年記念式典、熊本むさしクラブ設立総会(5/10)に祝電を打つ(三浦)

### ④ユース・アクティビティ・ナイトへのお招き:

5/13(木)6:30-8:45p.m. 於東京YMCA国際奉仕センター

### ⑤高槻クラブ創立15周年記念式典・祝会:

5/18(日)受付10:30, 式典11:00a.m. 祝会12:00noon  
於高槻市立文化ホール(0726-71-1061)。当クラブより栗山会長、秋月君、黒田君が出席予定。  
(会費¥7,000)

### ⑥名古屋東海クラブ創立30周年例会:

6/6(金)6:30-8:00p.m. 於名古屋出雲殿

### ⑦第11回日本YMCA大会(6/20-22): 於東山荘

“共生・共感・共労-YMCAの原点から”

### ⑧名古屋クラブ創立50周年記念式典・祝会

8/24(日)於日本基督教団名古屋教会、アイリス愛知(会費:¥10,000)

### ⑨新年度名簿校正(三浦)

## 一泊研修会報告

三浦直之

去る4月26日(土)、27日(日)にセンテニアル恒例の一泊研修会が、須磨の「兵庫インターナショナルセンター」で行われた。

ここは南側が海、北側が山で大変風光明媚なところで、天気にも恵まれ、快適に過ごすことができた。着いた当日は夕食まで少々時間があつたので、私はセンターの裏手から山に登り、森林浴を楽しむ。

参加者が揃ったところで、6:30p.m.頃よりレストランでコースの食事と少々アルコールで会話も大いに盛り上がる。窓の外に目をやると、すっかり暗くなった海に船の灯が点滅するのが見える。

なごやかに食事を楽しんだ後は、会議室に移動して研修会を行った。

まず、山田メンよりセンテニアルとして、主体性を持って何が出来るか、何をすべきかという問いかけがなされた。現在CS事業として関わっている「関西いのちの電話」について、どう関わっていけばよいか、ということについて「関西いのちの電話」の組織等を黒田メン、津田葉メンに説明してもらいながら話し合った。そして「関西いのちの電話」の中心メンバーとして活動している津田葉メンよりセンテニアルへの要望等を遠慮なく提案してもらうことを要望した。

次に、第2部として、秋月メンの名司会により2班に分かれてゲームを行った。漢字ビンゴその1~その4、社会科その1~その2と、いろいろ工夫されたゲームを行った結果、1位福永メン、2位黒田メンという結果となった。漢字ビンゴの成績が大ききものをいったようである。そして11:00p.m.過ぎ 研修が終了した。その頃、神田メンが到着し、残念ながら研修会には間に合わなかった。

翌日は、朝食後、用事のある方は帰り、残りの有志5人で近くの須磨離宮公園へ遊びに行った。見事な庭園と噴水などを見学し、新緑の空気を満喫して、須磨駅前解散した。今回の参加者は9名で、メネットさんの参加がなかったのが惜しまれた。(当のスタッフ抜頭掲載)

## Y M C A ニュース

大阪YMCA 神田 尚人

### ●早天祈禱会:

日時: 5月16日(金) 7:30~8:30a.m.

会場: 大阪YMCA 会館10階チャペル

証し: 錦織 一郎(職員) 会費: 300円(献金)

### ●第3回こころのワークショップ

震災被災者支援、復興活動で浮き彫りになった

社会的課題より、人間の「心」に焦点を当て、

「癒しと生きる意味」を考える。

日程: 5月17日(土)~18日(日)

会場: YMCA 六甲研修センター

## IBCニュース

==== ハワイ・ブラザー・クラブ便り ====

谷川 寛

— 前月号でお知らせしました、ハワイ・ヌアヌ・クラブのSteve Kranzさんが来日され、私のところで一泊されました。4月13日(日)夕方来られて、翌日朝出発という慌ただしスケジュールでした。

彼はヌアヌYMCAの主事で、今回はフィリッピン島のセブ島で開かれた広島YとハワイY、それにセブのYMCAが参加したワークキャンプに参加するのが主な目的でした。キャンプのあと、広島、神戸を経て私のところで一泊して、帰国の途につきました。今回はテニスが出来ず、残念がっていました。大阪センテニアルの皆さんによろしくとのことでした。

— Steve Kranzさんの件で、その後、再度メイ・ヒラナカさんから便りあり、その後お祖父さんの様態が悪く、24時間の看護を必要としているとのこと。従って、自宅を留守にすることは難しいと、書いてありました。鈴木さんのご様子を心配されてきました。手紙を出したが、返事がないとのことと、一度電話をする、とありました。私から、元気になられた旨、返事をしましょう。

— 先月号でラリーさんの会長のことを書きました。会長のなり手がなく、やむなく何回も会長をやることを会長の「リサイクル」と呼んでいます。メイさんの手紙では、ハワイでは、住宅のローンの返済が、若い夫婦には大変大きな負担であり、大半のカップルが共稼ぎであり、ワイズでもメンバーになっても、あまり大きな責任・負担を持ちたがらないそうです。会長職は単にクラブの面倒だけでなく、クラブ以外のファンクションがあり、従って、会長の人材難です。次期会長もやむなく、ラリーさんがやることになったそうです。彼女の手紙の英語の表現は、  
“Larry will again be recycled at president.”  
です。(pau)

対象: 災害とストレスケアにかかわるボランティアワーカー

問合せ: 大阪YMCAヒューマンサービスプロジェクト、大阪東YMCA内(☎06-787-3232)

### ●ウエルネスマンスご後援に感謝

5月にウエルネス事業全体で繰り広げておりますウエルネスマンスプログラムにご後援頂き、感謝申し上げます。

### ○1997年会員大会

日時: 1997年5月27日(火) 6:30-8:30p.m.

場所: 南YMCA 4階ホール(☎06-779-8361)

テーマ「あたたかい地域社会を創り出すために」

= インフォメーション =

中村 幸枝

最後の日本区大会に合わせて「メネットの集い」が6月7日名古屋にて開かれます。クラブごと人数を報告いたしますので、5月8日までに申し出て下さい。(すでに2名は出席して頂けます)

例会では、皆様に暖かいお言葉をかけて頂き、ありがとうございました。

---  
~~メネットからの貝物物~~

中村 幸枝

懐かしい数枚の写真が古いノートの間から落ちて……。長く欠席されているメネットさんのお姿や、もう連絡網に載っていない方のお姿もありました。

Afternoon Tea

坂本 千春

満開の桜の花が、この季節には珍しい激しい雨でその花びらを散らす中、私の父はこの世を去りました。入院してからわずかヶ月足らずの急逝に、私は気持ちのやり場を失い、時には嗚咽し、眠れない夜を過ごしました。そんな中、家族や親しい友人が私を励まし、黙って私の話に耳を傾けてくれました。

何か、自分の気持ちを話すことで、少しずつ心の均衡を取り戻して来た様に思います。

先日のY'sの例会には、参加して本当によかったと思っています。角さんの卓話に時には大笑いし、大いに元気を与えられた様に思います。卓話の中で「Y'sのメンバーで、例会に心から喜んで参加している人はごくわずかでしょう。」とおっしゃっていましたが、今私は、確実にそのわずか(?)メンバーの一人のつもりです。

久しぶりに、森晴美さんにお会いしました。たったの一時間だけでした。おみやげにと渡されたものは、大きな紙袋いっぱいのお切手とシートになった未使用の記念切手でした。

頂いた切手はずっしりと重く、それはY M C Aへのセンチナルへの、メネット会への、そして奉仕への森さんの心だったのでしょう。お別れするとき、「私にできることがあれば、言ってちょうだい」とおっしゃって下さいました。——「ありがとう」——。

なかなかお会いできないメネットさんたちも、もとセンチナルのお仲間だった方たちも、心はセンチナルなんだわ、私なんかよりずっとずっとセンチナルなんだわと、改めて感じさせられました。

畳の上に散らばった、日付の古い古い写真の中では懐かしい方たちのお顔は一様に美しく輝いて、センチナルスマイルでした。

\*\*\*

《お知らせ》

◎大阪Y M C A第3回チャリティラン

日時：1997年6月1日(日) (雨天決行)

9:00a.m. 受付開始 10:00a.m. 開会式

10:30a.m. スタート 1:30p.m. 閉会式

場所：淀川河川公園-太子橋地区(後)

全走行距離：約10km 参加費：¥50,000/1team

申込締切：5/26まで。(準備ご協力願います)

◎当クラブは受付・会計を担当。

今井利子さん(納野77)がチーフ。

◎96-97理事通信(4月号)より

●日本区の現勢(1/1/97)：3,267人(7/1/96計+26)

東副区：1,289人(+23) 西副区：1,978人(+3)

(なかのしまクラブ(25人)を追加すれば、

現在の日本区総数：3,292人)

●BF代表7人が4ヶ国より来日(5月~6月)

交流を深めましょう。

USA(1), Brazil(2), India(2), Denmark(2)



[-1997年例会第2部、漢字ピンで頭をひねる“よい子(?)”の面々]

## ◇◇◇ クラブ・ソング ◇◇◇

Once more we stand, new zeal our hearts imbuing;  
We raise our hand, Our service pledge renewing,  
Ne're to deny our motto's claim,  
Y's Men in fact as well as name,  
Always our objects to pursue,  
We consecrate ourselves anew.

うたえば ころろひとつに  
ともがき ひろがりゆきて  
とおきも ちかきもみな  
ささげて 立つやワイズメン  
さかえと ほまれゆたか  
まことは 胸にあふれん

## ☺ニコニコ・メッセージ☺

- ◎日頃のメネット事業に御協力感謝申し上げます。  
今日は、鈴木メネット様より中村様手作りのケーキをいただきました、ありがとうございました。  
・・・中西部メネット主査(現職)北村京子
- ◎娘の連れ合いの転勤で、4年半ミラノに在住していた娘夫婦、孫2人無事帰国、刈谷に引越しを終えました。感謝!!  
・・・秋月利英
- ◎先月も書きましたが、4月は私を含め、二人の娘と共に、誕生月です。感謝を込めて。・・・神田尚人
- ◎Y'sのリーダーシップは参加することから始まります。私のリーダーシップはY's活動の中で育てられています。  
・・・栗山佳三
- ◎21世紀への前進のために。  
・・・黒田巖之
- ◎個性を生かせる“大阪センテニアルクラブ”今後もみなさまの御指導お願いします。  
・・・坂本哲朗
- ◎参加型の卓話は、とても楽しかったです。  
何かしら、今日は“前進せよ”と力づけられた気がしました。  
・・・坂本千春
- ◎今日はみんなが心を合せて考える題材をくださってありがとうございました。とっても楽しいでした。主人がカゼの為欠席失礼致しました。  
・・・柴田暢子
- ◎L.T.について角正信館長の採った方法はよかった(全メンバーを参加させた)・・・鈴木謙介・美藤
- ◎リーダーシップ・トレーニング強調月間の例会に、「人を活かし、共に生きる」卓話を通して一緒に考えることが出来感謝します。  
・・・角 正信
- ◎やはりセンテニアルの例会は有意義で楽しい。できるだけ出席します。  
・・・隅田 保
- ◎角さん、神田さん、という二人のYMCAのプレインが参加してくれて、活力ある例会でした。感謝です。  
・・・谷川 寛

## = B F 4 月 度 報 告 =

(4月度の合計・本年度累計は第1面に掲載)

- 切手提供者：  
秋月君、黒田君、栗山君、坂本君、鈴木君、隅田君、角君、津田葉君、中村君、長瀬君、福永君、藤原君、山田君、山村君 (計14名)
- 現金提供者：  
栗山君、山田君、山村君 (計3名)  
(BF 山村 幸明)

(ニコニコ・メッセージ 謝)

- ◎21世紀のリーダーシップ。角さんの卓話、楽しみながら聞かせてもらいました。何よりも自分自身を活かせる人が求められるのではないのでしょうか。  
・・・津田葉清政
- ◎楽しい講義ありがとうございました。愛をもって人との関わりあいが続けていきたいです。  
・・・中村幸枝
- ◎角さんのリーダーシップで、とても楽しい例会でした。  
・・・長瀬由香子
- ◎角さん、御苦勞様でした。今夜のようなテーマは、もっと研修会で討議したいものです。  
・・・福永嘉彦
- ◎新しい21世紀に向けてのリーダーシップ・トレーニングについてのお話、興味深く伺いました。  
・・・福永滋子
- ◎今春、会社と神戸大学を無事卒業致しました。つつがなく健康に過すことが出来ましたことを感謝しております。  
・・・藤原正巳
- ◎リーダーの条件として、「人の心が解かる人」を追加したいと思います。  
・・・三浦直之
- ◎なかのしまクラブの例会に出てみませんか。  
・全メンバーの目がキラキラ輝いていて(年令とは関係なく・・・?) 圧倒されそうです。  
・わがセンテニアルも“負うた子に教えられ”などと云われないよう、活性を取り戻しましょう。  
・・・山田孝彦
- ◎角さん、LTの卓話、楽しくて有難うございました。  
・・・山村幸明
- ◎心まどわされず、豊かな心で、共に知り、考え、行動する、21世紀を生きれば幸いです。  
・・・山村利子

[編集後記] 気温の変動が激しい中でも、新緑の好季節になりました。最後の日本区大会を控え、更に新年度に備えて活気溢れる5月を迎えています。6月にはチャリティラン、いよいよセンテニアルの実力発揮のチャンスです。お互いパワーを……。次第に例会報告文作成者の周期が短くなっていますが、よろしく御協力と御理解をお願いします。(YF)